



あたらき大地

大阪木材工場団地協同組合



月刊 労 と調和の発信基地

1993年11月
No. 55号

“ウッドリーム友の会”で 第8回“木のふれあいツアー”を開催



『ウッドリーム大阪』（木材利用普及研修センター）の“ウッドリーム友の会”主催の木のふれあいツアーは、10月2日（土）・3日（日）「伊勢路木のふれあいツアー」と題して開催され、31名が参加した。

この催しは、ウッドリーム友の会が発足した昭和61年に伊勢神宮の遷宮用材を加工している神宮工作所の見学を皮切りに、日本三大美林の一つ「赤沢自然休養林」（長野県）、紀州木の国「竜神村」（和歌山県）、吉野杉の里「川上村」（奈良県）、樹

齢何百年という原生林「芦生演習林」（京都府）、クラフト創造遊苑「丹波年輪の里」（兵庫県）、木の文化・雛の文化の館「流しびなの館」（鳥取県）とウッドリーム友の会の恒例の行事として回を重ね、8回目となる今年は、伊勢神宮で1300年間脈々とつづいている世界にも例のない一大伝統祭事として20年に1度、ヒノキの社殿、それに装束や神宝すべてが造り替えられ、一新される式年遷宮（内宮;10月2日、外宮;同5日）の年にあたる、伊勢神宮へのツアーを実施した。

正宮より新しいお宮に神儀を移す「遷御の儀」は2日夜間古式ゆかしくおごそかに行われ、一般の拝観はできなかったが、遷御後の翌3日、白木もみずみずしいヒノキの香る新宮を参拝し、新宮祝祭の行事「奉幣の儀」のきらびやかな行列を参道から拝観した。

また、内宮門前町の“おはらい町”に明治の頃の風情をテーマに伊勢路の代表的な建築物を再現した、話題のスポット“おかげ横丁”などを散策した。

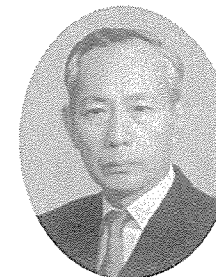
前日の2日は、今年4月に伊勢二見町に日本一のスケールで誕生した、戦国の英傑が大活躍する芸能イベントランド「伊勢戦国時代村」を見学し、生きた戦国時代を体験したが、この戦国時代村の建物はすべて木造建築で、米杉、米ヒバをはじめ、米松大断面集成材、スプルース、国産杉、桧など木材がふんだんに使用（6500㎡）されているとあって、一味ちがった戦国時代村を満喫した。

2000有余年の歴史を誇る神都伊勢で、日本人のここにふれた有意義なツアーであった。（牧山記）

このツアーはウッドリーム友の会の会員対象の限定行事となっておりますが、ウッドリーム友の会の会員は随時募集いたしております。詳細については本誌3月号No.52の“ウッドリーム大阪”だよりをご覧ください。



うちの会社のトピックス



山王木材(株) 社長 岡田 充弘

日頃は団地組合員の皆様には色々お世話になり、又この度は表彰の折にはお祝いまでしていただき、ありがとうございました。

当社は昭和21年設立され、北海道産広葉樹丸太を主体にスタートし、47年を経過しました。扱い商品も丸太から製材品、国内ものから輸入ものへと時代の変遷と共に、変わってまいりました。

現在は、米国・東南アジア・中国・ロシア・アフリカ等の広葉樹製材品・加工品・丸太及び建材関係の販売となっております。その間流通業の使命であります流通の簡素化に取り組み、産地直送方式でユーザーに届くよう、努力してまいりました。

その結果、仕入関係ではSANNON AMERICA INC、販売の拠点として北は札幌から南は大川まで1支店、9営業所を設け、お客様のニーズに応えるべく、努力しております。最近の円高により今後益々輸入木材への傾斜、それも加工度の高い、高機能木材製品への分野拡大が、当面の課題と考えております。激しく変わる世界情勢の中、木材業界も例外ではなく、皆様と共に考え、行動して、相互繁栄を目指したいと思っております。

今後とも変わらぬ御支援をたまわりますよう心からお願い申し上げます。

目次

うちの会社のトピックス	3	環境整備すぐやる課だより	10
アラカルト	4	樹木あれこれ	10
緑の少年団だより	5	木栄会だより	11
周辺の「味」散歩	5	新刊書紹介	11
ウッドリーム大阪だより	6	団地内のうごき	13
「ちょっと一言」	7	事務局だより	14
女性スタッフ紹介	8	クロスワードパズル No.31	16
ターゲット・バードゴルフのご紹介	8		

知っておきたいスピーチのコツ

社交の多い秋。ビジネスやおめでたい席でスピーチをたのまれることが多い。

長すぎず、短かすぎないのがよいスピーチ。どんな式典やセレモニーでも主賓は5分、そのほかは3分と心得ておくとうい。スピーチの速さは1分間320～330字が目安。これはアナウンサーがニュースを読む速さと同じ。そして必ず「間」をとる、なまりやアクセントを気にしない、話のポイントを絞り、起承転結を考える、自分の言葉で表現するなど注意したい。

ではどこを見て話すか？ 主役に向かって話すときは問題ないが、出席者全員に向かって話す場合は、後ろから3分の1ぐらいのところに視点を置き、スピーチを始めたら調子に合わせてゆっくりゆっくりS字形に視線を走らせるといい。

スピーチには故事やことわざ、金言・名句がよく引用されるが、引用するなら自分自身の考え方や体験、言葉を贈る相手の状況、性格などを考慮した上で。へたに使って金言だけが浮いてしまわないように。

(大同生命ワンアワー誌より)

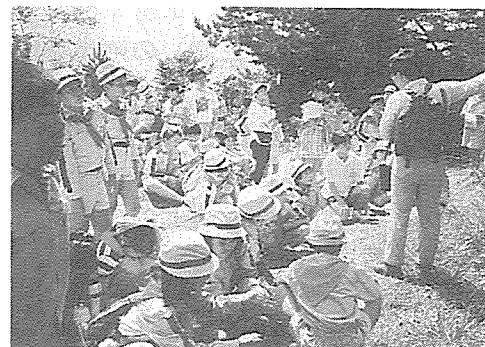
“シェル”のマークの由来

木材団地の給油施設(株)オクヒラのシェルマークの原形は、湘南海岸の砂浜の貝殻である。ロンドンの貧しいユダヤ人の家に生まれたマーカス・サミュエルは、18歳になったとき父親より日本への船の片道切符をもらい横浜へ着いたが、途方にくれたまま石川啄木のように東海の小島の磯の白砂を訪ねたのだった。そのとき美しい日本の貝殻に巡り会い、それをロンドンへ送って装飾品の材料にしたのが成功の始まりである。

のちに石油業を興し、英国海軍に石油を供給するまでに成長したため国家に買収され、会社はロイヤル・ダッチ・シェルとなった。が、そのシェルにこそ日本での貝殻の恩を忘れないサミュエルの気持がこもっているのである。そのシェルの石油を今われわれは使っている。

緑の少年団だより

～大阪府緑の少年団交流集会に参加～



9月4日(土)・5日(日)の両日、貝塚市の青少年自然の家で、大阪府緑の少年団交流集会が実施され、「美原木材団地緑の少年団」から3名が参加した。

日曜日の早朝から、和泉葛城山のブナ林の保護を推進している岸和田貝塚緑の少年団の指導のもとに、他の団員がいっせいに袋と火箸を片手に和泉葛城山の清掃作業を行った。

空き缶、空き瓶、ビニール袋、弁当カス

等、さまざまなゴミが団員たちの手で集められ、ブナ林の保護を手伝った。

今年はブナが7年ぶりにたくさんの実をつけ、本来ならブナの木の高い所に実がなり、手に取って見ることは殆ど不可能であるが、前日、大阪に上陸した台風のお陰で、ブナの木の実が実を付けた状態で地面に落ち、団員たちは、その枝を拾っては、実が多く付いていると大きな歓声をあげていた。



周辺の「味」散歩… …川田屋

寒い冬がもうそこまでやって来ています、そんな時は心も体も暖まるお鍋はいかがですか？

外環状線(国道170号線)廿山交差点西へ入った鳥料理「川田屋」さんで、数奇屋風の外観、民芸風の内装で落ち着いた雰囲気の中、地鳥を使った水炊き・シャブシャブ・すき焼きなどいかがですか？

コースで3,500円とお値段も手頃で地酒の「天野酒」などを酌み交わせれば気分は…その他1品も色々取り揃えてご満足いただけると思います。

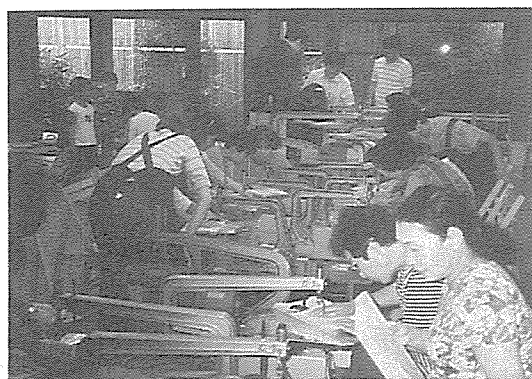
又、昼にはサービス定食も有り、一度ご賞味のほど。

住 所 富田林市廿山63-1

TEL 0721-29-0835

ウッドリーム大阪 だより

◎夏休み親子木工教室開催



8月10日(火)午後1時30分より出口守(DIYアドバイザー、工房くぼんせ主宰)山本恵子(木彫工芸家)の両氏を講師に『親子でマガジンラックをつくろう』をテーマとした木工教室が開催された。

この催しは夏休み恒例の行事として定着し、地元の美原町をはじめ近郊の市町村から親子等22組40名が参加し、集成材(ペルポック)の板に糸のこで模様を刻み、製作等に取り組んだ。

参加者は「夏休みの工作を教えていただき、親子で作れるので助かります。」と語っていた。

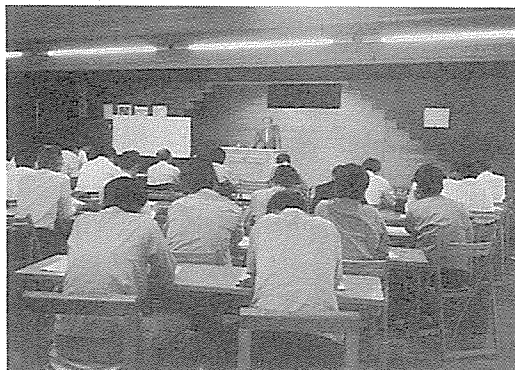
なお、当日は協同組合の役員会が開催され、役員の方々も見学した。

◎全国木材利用普及施設連絡協議会(通称:木普協)施設見学開催

9月10日(金)・11日(土)、平成5年度の施設見学会が長野地区で開催された。

見学会には全国各地の会員22施設のうち7施設延べ14名と林野庁から木材流通課の担当官が参加して開催され、松本木工館、富士見カルチャーセンター、そして信州博覧会で話題の国産材(信州カラマツ)の湾曲集成材と野地角を組合せて造られた日本一の木造ドーム“グローバルドーム”などを見学した。

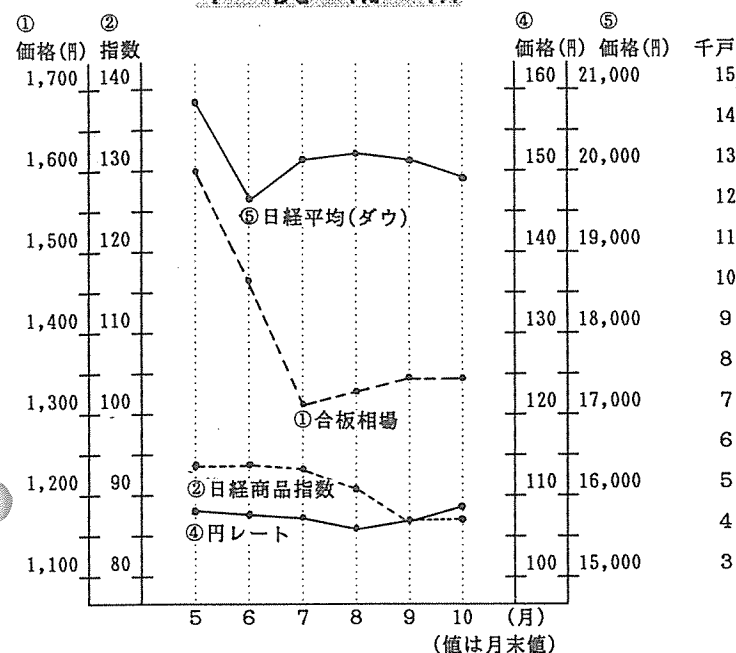
◎木材知識講習会開催



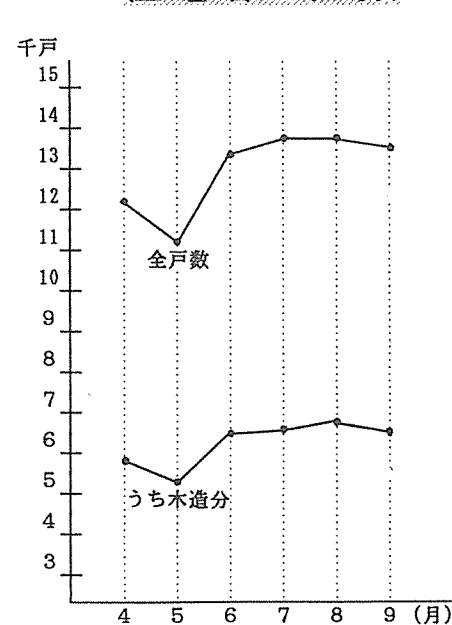
9月25日(土)午後1時より(財)日本住宅・木材技術センター 特別研究員 山井良三郎氏を講師に招き「住宅と木材のQ&A」と題して、講習会が開催され、55名が受講した。

講習会は、講師の山井先生が最近の住宅情勢の現状(問題点)とそれに対応するために木材関係者が知っておかなければならない基礎知識について解説された。

市況情報



住宅着工戸数



「ちょっと一言」

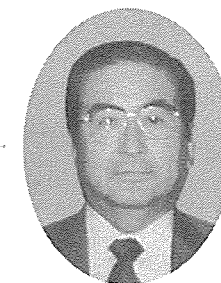
【植林事業について】

永大産業㈱ 社長 井上良治

弊社のブラジルの現地法人「永大ブラジル」が今年7月20日、創立20周年を迎えました。同社はアマゾン河口のベレン市に立地し、合板を中心に木製品を生産・販売しております。そして、その会社を中心としてすでに20年間、アマゾン川流域において植林事業を行ってきております。アマゾンで木材を費消し、その代わりに木材の再生を図っているわけで、現在では6万4000ヘクタール、日本の総面積の約600分の1に当る大規模なものになりました。

このほかにも、昨年5月から同社の工場敷地内に約2ヘクタールの規模で「試験林」を設け、横浜国立大の宮脇教授のご指導をいただき、百数十種類にも及ぶ樹木の育成に、より科学的な研究を進めております。

弊社の「地球に優しく、木を大切に、そして木の良さを生かしながら、木の文化を創造する」との基本理念に則って、今後も幅広く積極的に植林事業に取り組んでいく所存であります。



女性スタッフ紹介 ●●●●●

アキツ工業(株) 堀田 亜希子



たんじょうび 10月13日
せいざ てんびん座
すみか とんだばやしのはじっこ
ちのしゅるい O型

入社して、はや1年半が過ぎしらぬまに、2度目の『たんじょうび』を迎える事となりました。仕事もなれてきまして、順調?な毎日を過ごしています。

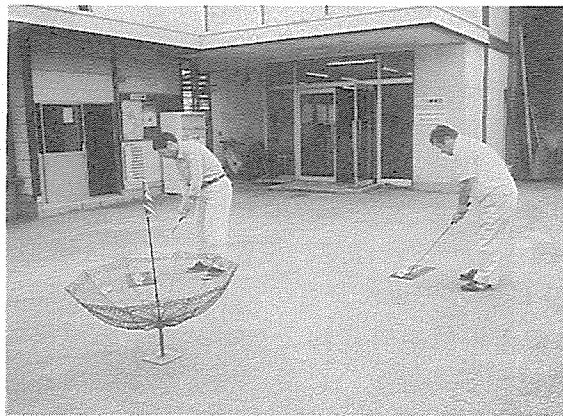
又、女性スタッフの講習を受けさせてもらい、他社の女子社員の方々と親しくなり、自分にとって実のある事がたくさんありました。

これからもいろんな事にチャレンジしてたのしい人生を過ごせたらと思っています。

ターゲット・バードゴルフのご紹介

㈱丸末 美原工場

ターゲット・バードゴルフ美原クラブ



木材団地内の㈱丸末美原工場には、ユニークなスポーツクラブがありますので本誌を借りて紹介させていただきます。

クラブ名は「ターゲット・バードゴルフ美原クラブ」と称し、現在の会員数は約30名で毎週木曜日に練習しています。

ターゲット・バードゴルフといえば耳なれない名前ですが、一言でいえば、羽根付ボール(バドミントンの羽根を

ゴルフボールに取り付けたようなもの)を普通のゴルフクラブのピッチングウェッジで打つ、ゴルフに似た新しいスポーツです。現在、全国でレクリエーション協会が生涯スポーツとして、特に普及指導しています。ルールはゴルフと殆ど同じで、コースは9ホール、パー27でゴルフよりパーが9つ少なくなっています。

コースの幅は約4m、距離は約18~50mで傘を逆さにしたようなカゴに入ればホールインとなります。(パターは使用できません。)

ボールを打つ場合、マットを使用して打ちます。プレー中はマットを持ってボールの落下地点まで移動し、その都度、下に敷いてボールを打ちます。

コースはロープ等で作りますので、小学校の校庭程度の狭い場所で9ホールプレーが可能です。ボールは思い切り打っても20m位しか飛びませんが、ホールインの爽快感は格別で、充分にゴルフの醍醐味が体験でき、子供から大人まで手軽にできるニュースポーツです。

㈱丸末では、このターゲット・バードゴルフを従業員の親睦の一環として社内大会を開催し、普及に努めています。また社内のクラブ活動として、毎週木曜日に練習会を行い、毎月第3木曜日には、ハンディキャップ制で月例競技会を開催しています。また大阪府大会等の対外競技にも参加し、入賞者等を出して、府内では段々と力をつけているクラブです。

ターゲット・バードゴルフは誰でも手軽にできるスポーツです。皆さんも一度やってみませんか。

なおターゲット・バードゴルフに興味のある方は下記宛先にご連絡いただければ幸いです。

記

美原町木材通2-3-5 (株)丸末 美原工場

ターゲット・バードゴルフ美原クラブ

代表者 河内 義明

(TEL 62-6150)



環境整備すぐやる課 だより

9月30日(木)午前9時より、毎年2回行っている環境整備のための「ゴミ0の日」を実施した。

当日は、朝からあいにくの雨模様で実施が危ぶまれたが、早々と各社内の清掃を行っている会社もあり、美原町からも団地内の美化清掃にご協力いただき、夕方にはゴミの回収作業も終了した。

案内には、自社回りの側溝の清掃と草等の清掃をお願いしていたが、ゴミの中には鉄クズや粗大ゴミが出されており、今後一層啓蒙をはかっていきたい。

樹木あれこれ No. 15

栃(とちのき)



関東から東北地方にかけて多い落葉の高木。日本原産。用材としても木目が美しく、良材。七葉樹といわれるほど葉にも特徴があり、5-7枚の葉が集まって掌状の大きな葉となっている。

実がまた栃餅などとして有名で、今でも食用に供されてる。古く何万年前の縄文時代からの日本人の食べ物で、米一升栃粉一升といわれるほど重用されてきたという。

古くは橡(つるばみ)といい、実を包むカサを煮て薄墨色の染料を取った。万葉集には橡を詠んだ歌として6首あるが、大体

は古くより親しんできた女性のことを指している。妻でもあり、そうでない場合もあるようである。その中に大伴家持の1首もある。

『紅(くれなゐ)は移ろふものぞ橡(つるばみ)の馴れにし衣(きぬ)になほしかめやも』(紅染めの着物は美しいが色あせやすい。地味ではあるが橡染めの着古した着物にはおよばない)。

これはサブルコという名の遊女にうつつを抜かして妻を離縁しようとした部下に、そのようなことをしてはならないと教え諭した4首のうちの1首である。サブルコを紅染めの衣にたとえ、京に残してきている妻を橡染めの衣にたとえているが、当時でも、妻に落ち度がなければ離縁できない法律となっていた。とすれば、部下にしても、それなりの離縁をいいたてる理由はあったのだろう。

栃は栃木県の県木で、その県庁前の栃の並木道は美しい。御堂筋も梅新より北は栃

と同属のマロニエの並木道である。マロニエの並木道といえばロンドンにはバッチーパーク、パリではシャンゼリゼの並木道やエッフェル塔の付近だが、セーヌの左岸にはプラタナスが多い。プラタナスの枯れ葉は大柄で風に舞いながら落ちていくが、マロニエの枯れ葉は5-7枚の小さな葉が一枚一枚ハラハラと散っていく。一葉落ちて天下の秋を知る。漢籍にある言葉で、葉は栃の葉やマロニエの葉でもよい。坪内逍遙の戯曲の桐一葉で、大阪落城と豊臣家滅亡とを予感させるものとして桐が定着したらしい。

木栄会だより

◎ 8.9月度実施事業

事業名	実施日	参加人数	概要
日本敷物団地盆踊り大会	H5.8.7	7名	異業種交流の一環として親交を深めている、日本敷物団地協青年部主催の盆踊り大会で木製品・木工キッド等の模擬店を開設。
異業種工場見学会	H5.9.18	35名	需要者ニーズの多様化に対応するための情報収集を目的に「ハウメッセ京都」・「サントリー山崎蒸溜所」及び「二条城」を見学。

新刊書紹介

◆「マティソン郡の橋」 (R. J. ウォラー・文芸春秋)

訳が巧みなため、よどみなく読める。夫の留守中、妻が行きつりの写真家Kと情を通じ、そこに誠愛を感じるというこの物語は、結局姦通小説であるが、それにもかかわらず純愛物語と映るのは、姦通という概念が現在すでに風化しているからである。

妻とKとがその情事の中に永遠の愛を感じたのなら、それはそれで仕方のないことなのだから、その時点で二人は駆落ちしなければならない。しかし妻は夫や子供たちのために、そうしなかった。が妻がKに恋しながら、その後も家庭生活を営むことは、子供はまだしも夫にしてみれば、魂の抜けた女を相手に生きたこととなり、これは妻の夫に対する裏切り・偽善・背徳行為だというほかはないこととなる。

万葉集が永遠に偉大なのは、それが人生とは愛と死以外は雑事と見抜いているからで、この小説にも二人が別々に死んだあと、遺言で火葬にした灰を同じ場所に撒いてくれというところがある。人磨も亡くした妻を灰にしていたが、愛と死との間に永遠の生を見いだしている点、わが古典の真髓に期せずして通じたということがいえよう。

◆「シュンペーター」 (伊東光晴=根井雅弘・岩波新書)

今、なぜシュンペーターなのか。ケインズの時代といわれた政府・官僚により判断操作される有効需要の導入だけで不況を乗り切れるという時代は終わった。というより、ここ10数年来の急速かつ旺盛なイノベーション(技術革新)による日本資本主義の確実な躍進展開がシュンペーターのいう理論をもの見事に実証したという方が適切だろう。冷戦後の日本はその独自の政経策で新たな世界史を開拓構築していくこととなる。

シュンペーターの考えとは、簡単にいえば、マルクスが利潤の生まれるもとを人間の労働価値においたのに対して、そうした単なる人間の労働価値よりも技術革新が創出するその価値の中より生まれ出るといふものである。最近の発展著しい半導体のイノベーションが、殆ど無限の応用範囲を持つとされるところに、その好例が見いだせよう。シュンペーターとケインズとは生涯の好敵手だったが、この2人がマルクスのなくなったその1883年に生まれたというのも面白い話である。

団地内の動き

◎第9回 木材団地まつり(ウッドフェア)

盛況裡に開催される!



当組合の秋季恒例行事「木材団地まつり(ウッドフェア)」は、10月23日(土)・24日(日)の両日「メッセ美原」特設会場において盛況裡に開催された。

当日は風の強い日であったが晴天に恵まれたこともあり、来場客は延30,000人・売上総額は9,500万円となりいずれも過去最高を記録した。

今回の催しの大きな特徴は、即売(物販)・イベントをすべてメッセ会場及びその周辺で行ったこと、昨年度か

ら設けたメッセ美原会場周辺の歩行者天国と車両一方通行区域をより鮮明なものとしたことなどが挙げられる。

即売(物販)コーナーでは、所狭しと揃えられた商品を、この日を待ちかねた一般消費者に大廉売が行われ、会場は終日活況を呈していた。

一方、イベントコーナーでは、木工クラフト展(美原町校区、小学6年生・中学2年生総数580作品の展示会)・木工コンクール(主催:大阪府木材連合会、間伐材の利用をテーマとした大阪府下高校生115作品のコンクール)・福引・交通キャンペーン(主催:黒山警察署)・木工教室(主催:日本日曜大工クラブ)・記念モニュメントの展示(第9回の開催を記念して制作された木製恐竜)など、「木材」をアピールし、その利用普及に大きな意義があったといえよう。

なお今回の催しの成功は、組合員全社の力の結集であり、文字通り「木材団地まつり」の名にふさわしい大きなイベントであった。・



事務局だより

◎受彰者の紹介

- | | | |
|-----------------------------------|------------------------|-------------------------------------|
| ・大阪府知事表彰
(商工関係者功労) | 高島正一氏
(H5. 11. 5 付) | } 東部木材(株) 社長
大阪木材工場団地(協)
副理事長 |
| ・大阪府中小企業団体中央会
会長表彰(組合経営功労) | 高島正一氏
(H5. 10. 7 付) | |
| ・大阪府中小企業団体中央会
会長表彰(組合事務局優秀専従者) | 田中義輝氏
(H5. 10. 7 付) | 大阪木材工場団地(協)
事務局 係長 |

◎地区との懇談会

9月7日(火)午後5時半から7時まで、組合会館で恒例になった協同組合役員と地区会役員との懇談会が開催された。

現在地区会では、新しい濱区長を中心に住宅内の環境整備や交通安全対策の推進を町行政に働きかけ、その改善に取り組んでいるが、今回の会議ではその一環として住宅地内を通行する車輛の安全速度での運行を企業側にぜひ啓蒙してほしい旨依頼があった。

皆様方も交通安全のために住宅地内の通行にはスピードを出しすぎないように十分注意していただくようお願いしたいと思います。

◎木材乾燥工場“ドライテック美原”の利用促進について

平成4年3月に竣工した新木材乾燥工場“ドライテック美原”は従来の蒸気乾燥設備に加え、木材含水率の均一化を促進する予備乾燥設備、ツキ板、柱材、板材 etc…など多種多様な乾燥ができる高周波乾燥設備など最新鋭の設備を導入しております。組合員のお取引先等で木材乾燥の需要がございましたらぜひご紹介をお願いします。

また、木材乾燥に関するご相談は、何なりとご遠慮なくお申しつけ下さい。(担当; ドライテック美原 森 TEL 0723-61-2798)

◎集団健康診断の案内

本年度の集団健康診断は、実施場所を従来の「木青会館」より「ウッドリーム大阪」に変更(車輛駐車場・検診での混雑緩和のため)して下記により実施いたしますので、ご案内いたします。

記

実施日; 平成5年11月29日(月)・30日(火)
実施時間; 両日とも午前9時より午後4時まで

なお、お申込み書を含む正式案内は後日発送いたします。

